

地域文化財総合活用推進事業 実施計画

| | | | |
|---|----------------------|--------------------------|---------------------|
| 1 都道府県・市区町村名 | 大分県 | 2 補助事業の種類 | 地域文化遺産活性化 |
| 3 実施計画の名称 | 大分県の文化遺産を活かした地域活性化事業 | | 【計画の改善時期】 平成 年度 |
| 4 実施計画期間 | 平成 23 年度 ～ 平成 32 年度 | | |
| 5 実施計画の概要 | | | |
| <p>大分県長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」の「【発展】2. 芸術文化による創造県おおいたの推進（3）文化財・伝統文化の保存・活用・継承」の内容を踏まえ、大分県内に所在する文化遺産を保存・管理し、積極的な活用を通して地域活性化の推進や次世代への継承を行うための取組を実施する。</p> <p>なお、今後の取組内容については、これまで実施してきた取組を活かして、下記3つの取組を中心として行う。また、事業を実施する中で、行政・民間団体・文化財所有者等が連携・協力し、大分県の文化遺産が十分保護される体制の確立を目指す。</p> <p>さらに、今後予定されているラグビーワールドカップ（2019年度）、東京オリンピック・パラリンピック（2020年度）という県内にとまらず、国内外に大分県の文化遺産の魅力を発信できる機会を活用して、文化財・伝統文化の保存・活用・継承の機運を高める。そして、実施計画期間終了後も、実施計画中の取組の継続及び更なる大分県の文化遺産を活かした地域活性化の推進や次世代への伝統文化の継承を図り、県民の文化財・伝統文化の保存・活用・継承に係る興味・意識を高めていく。</p> <p>【取組内容】</p> <p>(1) 大分県内の民俗芸能を活かした普及啓発（平成29年度～平成32年度）</p> <p>(2) 「おおいた遺産」を活用した情報発信・人材育成・普及啓発（平成29年度～平成31年度）</p> <p>(3) 歴史的建造物の保存活用推進のための人材育成（平成30年度～平成31年度）</p> | | | |
| 6 実施体制 | | | |
| <p>本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導は以下の担当課が行う。</p> <p>【担当課】大分県教育庁文化課</p> <p>また、補助事業は次の団体が実施する。補助事業に係る書類及び成果物等は実行委員会事務局が管理することとし、実施期間終了後は、大分県に継承する。</p> <p>【実施団体】豊の国文化遺産活用実行委員会（委員長：中山 欽吾）</p> <p>【構成団体】</p> <p>(1) おおいた民謡・民俗芸能活性化委員会（会長：中山 欽吾） 大分県内の民俗芸能を活かした普及啓発事業を実施</p> <p>(2) おおいた遺産活性化委員会（会長：幸重 綱二） 「おおいた遺産」を活用した情報発信・人材育成・普及啓発事業を実施</p> <p>(3) 大分県文化遺産活用推進実行委員会（会長：小倉 正五） 宇佐国東半島文化を活用した情報発信・人材育成・普及啓発事業を実施</p> <p>(4) 大分県建築士会（会長：井上 正文） 歴史的建造物の保存活用推進のための人材育成事業を実施</p> <p>各年度の事業終了後は、大分県の文化遺産を活かした地域活性化事業連絡協議会において、事業の実施報告及び成果の評価を行う。また、評価結果については、毎年度、大分県の文化遺産を活かした地域活性化事業（大分県の実施計画）で実施する事業計画内容に反映させることとする。</p> <p>具体的には、各年度の事業実施終了後に連絡協議会を開催し、事業実施における成果や課題点・問題点を各構成団体から報告してもらう。それらを総合して、今後の方向性や具体的な実施内容を整理し、次年度以降の計画に反映させる。</p> | | | |
| 7 実施計画における目標と期待される効果 | | 別紙①のとおり | |
| 8 補助事業の概要 | (1) 補助金額 | ～平成30年度交付決定額： 106,282 千円 | 平成31年度申請額： 7,705 千円 |
| | (2) 実施事業の概要 | 別紙②のとおり | |

9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）

- ・大分県内の民俗芸能に係るフェスティバルのシリーズ開催や、大分県固有の民謡を体感してもらう祭典を実施し、幅広い世代へ普及啓発を行うことにより、県内の伝統文化の魅力発信や次世代への継承へとつなげられる。
- ・大分県民が故郷大分県の文化、歴史、自然等の遺産について学ぶことにより、故郷への理解を深め、郷土への愛着を育むことができる。
- ・大分県内の文化遺産を紹介する広域ガイドを育成することにより、観光振興や各地域に点在する文化財の魅力の再発見、文化財を活用したまちづくり・地域づくりを行い、事業終了後も自立して歴史背景を持った地域づくりができるようになる。
- ・宇佐国東半島文化の情報発信等により、地域住民の文化活動への積極的な参加が期待され、観光振興にもつなげられる。
- ・高度な専門知識、技術・法制度を修得した「熟練したヘリテージマネージャー」を養成することにより、大分県内の歴史的建造物の適切な保存をするための体制ができる。
- ・実行委員会が多種多様な取り組みをすることにより、大分県における文化の活性化を図り、今後開催が予定されているラグビーワールドカップ（2019）、東京オリンピック・パラリンピック（2020）等の文化プログラムにも活かしていくことができる。

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）

| | |
|-------|--|
| 事業概要： | |
| 事業概要： | |
| 事業概要： | |

11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

文化財保存活用大綱は、平成31年度の策定を目指している。
その他については、他都道府県の状況を注視しているところ。

12 担当部局

| | |
|-----------------|-----------|
| 地方公共団体 担当部局課 | 大分県教育庁文化課 |
|-----------------|-----------|

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

| | | | | | |
|------------|--|-----------|-----------|----------|----------|
| 目標区分 1 : | 地域の文化資源を活用した集客・交流 | | | | |
| 評価指標区分 1 : | 地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり) | | | | |
| 具体的な指標 1 : | 県立歴史博物館・先哲史料館・埋蔵文化財センターの利用者数 | 関連事業: | 別紙②：事業①～⑤ | | |
| 目標値 1 : | 【現状値】 平成 28 年度 102,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 113,500 人 | | | | |
| 設定根拠 1 : | 大分県長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」での目標指標 毎年500人増を基本として、H29～H31年度の間で約10,000人の増を目指す | | | | |
| 進捗状況 1 : | 各年度, 状況値, 目標に対する達成率 | | | | |
| 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 |
| 106,741 人 | 113,906 人 | 124,576 人 | 人 | 人 | 人 |
| 41% | 104% | 196% | | | |

| | | | | | | |
|----------|---|----------|----------|---------------------|----------|--|
| 事業④： | おおいた遺産を活用した普及啓発事業 | | 実施団体： | おおいた遺産活性化委員会 | | |
| 事業区分： | 普及啓発 | | 事業期間： | 平成 29 年度 ～ 平成 31 年度 | | |
| 事業概要： | 大分県の文化遺産を次世代に保存・継承していく機運を醸成するため、引き続き県民向けのモニターを実施するとともに、昨年度の情報発信事業で制作したスマホ用アプリを活用したスタンプラリーを、多くの人が「おおいた遺産」を訪れるインセンティブとする。 | | | | | |
| 評価指標区分： | ・保存会への新規入会者数 | | | (具体的な指標は次のとおり) | | |
| 具体的な指標： | 大分県学研究会への新規入会者数 | | | | | |
| 目標値： | 【現状値】 平成 28 年度 5 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 10 人 | | | | | |
| 進捗状況： | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | |
| | | | | | | |
| 事業⑤： | 歴史的建造物の保存活用推進人材育成事業 | | 実施団体： | 公益社団法人 大分県建築士会 | | |
| 事業区分： | 人材育成 | | 事業期間： | 平成 30 年度 ～ 平成 31 年度 | | |
| 事業概要： | 総合的かつ高度で専門的な知識と技術・技能を備えたヘリテージマネージャー（仮称：スキルフルヘリテージマネージャー＝S HM）の育成と組織的な支援体制を構築する。具体的には、技術・法制度や伝統工法の修得、民間建築団体による支援体制整備の検討・構築等。 | | | | | |
| 評価指標区分： | ・ヘリテージマネージャー育成講座修了者によるヘリテージ活動件数 | | | (具体的な指標は次のとおり) | | |
| 具体的な指標： | スキルフルヘリテージマネージャー育成講座修了者による歴史的建造物の保存活用活動件数 | | | | | |
| 目標値： | 【現状値】 平成 29 年度 0 件 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 10 件 | | | | | |
| 進捗状況： | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | |
| 件 | 件 | 件 | 件 | 件 | 件 | |
| | | | | | | |